

1

次の文章を読んで、①～⑥に答えなさい。

(45分)

著作権の関係から設問のみ

(出典 土井隆義「つながりを煽られる子どもたち」)

- ① ①の部分⑥、⑦、⑧を漢字に直して楷書で書きなさい。
- ② ⑧「人物像のキャラ化」とはどういうことか。それをわかりやすく述べた部分を文章中から三十五字以内で抜き出して、最初と最後の四字を書きなさい。
- ③ 「予定調和の関係」とは、どのような関係か。その説明として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
ア 将来も今の状況のままであると予定された人間関係
イ あらかじめ円滑になるように期待して設定された人間関係
ウ あらかじめ自分が有利になるように仕組まれた人間関係
エ 将来の安定につながるように選択された人間関係
- ④ 「そのため……気づけません」とあるが、それはどういうことか。五十字以内でわかりやすく説明しなさい。
- ⑤ ①、②、③に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。それぞれ一つ答えなさい。
ア I イ II ウ III エ IV
- ⑥ 「長い目で見れば……なのです」とあるが、筆者はなぜそのようにいうのか。文章全体をふまえてわかりやすく説明しなさい。

2

次の文章を読んで、①～⑥に答えなさい。

子曰、学而時習之、不亦説乎。
 有朋自遠方来、不亦楽乎。
 人不知而不愠、不亦君子乎。

(出典 「論語」)

『子曰はく、学びて時に之を習ふ、また説ばしからずや。
朋遠方より来たる有り、
人知らずして愠らず、また君子ならずや。』(学而)

著作権の関係から設問のみ

(出典 諸橋轍次「古典のかがみ」)

- ① 「時に之を習ふ」とあるが、その意味を（学んだことを）に続くように書きなさい。
- ② ⑥ に入ることを書きなさい。
- ③ 「人知らずして」とは、どういうことか。それを具体的に説明した部分を文章中から三十字以内で抜き出して、最初と最後の四字を書きなさい。
- ④ 「右の……である」とあるが、「一つの文章」として読んだとき、どのようなことが読み取れるか。その説明として最も適当なのはア、イ、ウのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 知識量が多いほど、他者からの信頼が一層厚くなるということ。
- イ 学問を重ねることが、複雑な世の中の理解に役立つということ。
- ウ 真の学問修養で得た自信が、人間形成につながるということ。
- エ 卓越した技術があれば、自信を持って行動できるということ。
- ⑤ ① ⑥ 「孤」の字を用いた二字の熟語を一つ書きなさい。
- ⑥ 「第三句……思う」とあるが、第三句のどのような内容に筆者は意義を認めているのか。わかりやすく説明しなさい。

3

次の文章を読んで、①～⑦に答えなさい。

著作権の関係から設問のみ

- ① ———の部分②、③、④の漢字の読みを書きなさい。
- ② ⑥ に入ることをばとして最も適当なのは、ア、イのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 淡々と イ 生き生きと ウ しぶしぶ エ 必死で
- ③ 「彼女が……厭だつた」とあるが、それはなぜか。わかりやすく説明しなさい。
- ④ 「鳴海を……見ていた」とあるが、この場面を説明した次の文の に入る八字以内の適当なことを書きなさい。
春也から鳴海を守つてやろうとしたのに、鳴海はその救済を 様子がうかがえて、慎一は落胆している。
- ⑤ 「慎一は……できなくなつていた」とあるが、このときの慎一の様子を説明したものとして最も適当なのは、ア、イのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 春也の申し出を受け入れて踊る鳴海に敗北感を抑えられないが、次第に小学生とは思えない踊りそのものに惹かれていく。
- イ 春也に対する気持ちは稚拙な鳴海の踊りによって静められるものの、次第に踊りに集中する鳴海の姿に劣等感を強めている。
- ウ 初めはなおざりに感じられた鳴海の踊りが徐々に真剣さを増し、最後にゆっくりと視線を春也に向けたのを見て動揺している。
- エ 踊りが徐々に熱を帯びてくるにつれ、屈託した気持ちを一時忘れて、拙なくも真剣に舞う鳴海の姿態に魅了されている。
- ⑥ 「隣で慎一は……感じていた」とあるが、慎一はなぜそのように感じたのか。わかりやすく説明しなさい。
- ⑦ この文章の表現と内容についての説明として最も適当なのは、ア、イのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 春也は感情を露わにしない冷淡な人物として設定されている。
- イ 踊りの場面は比喻や聴覚的描写によって幻想的になっている。
- ウ 鳴海の不器用な踊りは慎一を拒む気持ちを象徴している。
- エ 少年少女の無邪気な心の交流が慎一の視点で描かれている。